

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	都城コアカレッジ
設置者名	学校法人都城コア学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	ICT エンジニア科	夜・通信	210時間	160時間	
		夜・通信			
商業実務専門課程	医療ビジネス科	夜・通信	210時間	160時間	
		夜・通信			
教育・社会福祉専門課程	介護福祉科	夜・通信	180時間	160時間	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「都城コアカレッジ情報公開資料集」を事務室に設置。申し出を受け、事務室窓口にて閲覧に供する。
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	都城コアカレッジ
設置者名	学校法人都城コア学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://miyakonojo.core-gakuen.com/wp-content/uploads/HP_yakuin.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	都城市長	2024. 4. 1 ~ 2026. 3. 31	公的立場からの運営協力
非常勤	都城市議会 議長	2024. 4. 1 ~ 2026. 3. 31	公的立場からの運営協力
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	都城コアカレッジ
設置者名	学校法人都城コア学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本校の教育目標、教育方針、教育指標に基づき、該当教科について担当教員が、次の項目を記載した授業計画(シラバス)を作成している。</p> <p>作成した授業計画(シラバス)は、クラウド上の共有フォルダに公開、または4月当初に学生へ配布している。</p> <p>(シラバス記載項目)</p> <p>科目名・担当講師・実務経験のある教員である旨・授業時間数・単位数・履修時期・使用教科書・授業の目標・概要・授業の内容・方法・単位認定の方法及び基準</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>「都城コアカレッジ情報公開資料集」を事務室に設置。申し出を受け、事務室窓口にて閲覧に供する。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>当該科目の出席率が実質講義回数のおよそ五分の四以上の者に単位認定試験を実施する。科目の総合評価は、単位認定試験、授業態度(平常点)、レポート等を考慮して行い、100点満点中60点以上を合格とし、所定の単位を与えている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>当該学年の全ての履修科目について、単位認定試験及び実習評価による点数を合計し平均を算出する。(100点満点で小数点以下第二を切り捨てて点数化) 算出した平均点を基に、以下の指標数値ごとの人数を把握している。</p> <p>指標数値</p> <p>0～ 59.9 60.0～ 69.9 70.0～ 79.9 80.0～ 89.9 90.0～100.0</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	「都城コアカレッジ情報公開資料集」を事務室に設置。申し出を受け、事務室窓口にて閲覧に供する。
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>以下の2項目を満たした場合は卒業認定とする。</p> <p>① 必修科目および必要な選択科目をすべて修得していること。 ② 卒業に必要な単位数を取得していること。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	「都城コアカレッジ情報公開資料集」を事務室に設置。申し出を受け、事務室窓口にて閲覧に供する。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	都城コアカレッジ
設置者名	学校法人都城コア学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://miyakonojo.core-gakuen.com/wp-content/uploads//kessan_houkoku.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://miyakonojo.core-gakuen.com/wp-content/uploads//kessan_houkoku.pdf
財産目録	https://miyakonojo.core-gakuen.com/wp-content/uploads//kessan_houkoku.pdf
事業報告書	「都城コアカレッジ情報公開資料集」を事務室に設置。申し出を受け、事務室窓口にて閲覧に供する。
監事による監査報告（書）	https://miyakonojo.core-gakuen.com/wp-content/uploads/kansa_houkoku.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	ICT エンジニア科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,930時間	630 時間	1,260 時間	560 時間	0 時間	0 時間
			2,450時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		30人	0人	3人	2人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
情報通信技術の知識・技術を身につけ、生涯にわたって活用できる資格を有する情報通信技術のスペシャリストを育成することを学科方針としており、ICT関連企業等の関係者を教育課程編成委員に選任し、ICT業界の専門性の動向、新たな技術動向に関する知識、技術について、企業関係者からの意見を十分に反映して、授業科目、授業の内容・方法の改善を図っている。
成績評価の基準・方法
（概要）当該科目の出席率が実質講義回数の五分の四以上の者に単位認定試験を実施する。科目の総合評価は、単位認定試験、授業態度（平常点）、レポート等を考慮して行い、100点満点中60点以上を合格とし、所定の単位を与えている。
卒業・進級の認定基準
（概要）本校規定の必修科目および必要な選択科目をすべて修得することを進級基準とする。必修科目および必要な選択科目をすべて修得し、かつ卒業に必要な単位数を取得した者を卒業認定とする。

学修支援等
(概要) 担任による二者面談、および三者面談を実施し、学生状況の把握と修学意欲向上に努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	6人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 株式会社テクノクリエイティブ、株式会社アイティージェルパ、日経トータルソーシング、フジアルテ株式会社、株式会社ヤマダ電機			
(就職指導内容) 求人票閲覧や就職試験に関する説明会の開催、また、ハローワークと連携した就職指導や、個別に面接指導等を行っている。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 基本情報技術者試験4名合格、ITパスポート試験6名合格、情報システム試験 (システムデザインスキル6名、プログラミングスキル2名、基本スキル8名)、情報活用検定1級10名、2級10名合格等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	4人	16%
(中途退学の主な理由) 進路変更のため2名、病気療養のため1名、単位修得の見込みが立たないため1名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生全員に対して定期の個人面談を実施する以外にも、保護者と連携して保護者会の実施や個別の指導、面談を随時実施する。 また学生自治会活動を通じて、学生間の交流を支援している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	医療ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1, 850時間	540 時間	1,110 時間	680 時間	0 時間	0 時間
			2, 330時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		6人	0人	3人	4人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>近年の医学の発展と医療技術の進歩に伴い、医療が高度化・多様化する中で、医療事務、医療秘書にはその業務を通じてそれに対応できる能力を育成するために、教育課程編成委員には、地域医療の中核である医療機関や介護福祉施設の関係者を選任し、関係団体・病院等との連携のもとに、教育課程の企画及び円滑な運営、授業科目の内容や指導方法の充実、各授業科目間の連携について、各委員からの要望や意見等を十分に反映させ、改善・調整を図っている。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）当該科目の出席率が実質講義回数の五分の四以上の者に単位認定試験を実施する。科目の総合評価は、単位認定試験、授業態度（平常点）、レポート等を考慮して行い、100点満点中60点以上を合格とし、所定の単位を与えている。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）本校規定の必修科目および必要な選択科目をすべて修得することを進級基準とする。必修科目および必要な選択科目をすべて修得し、かつ卒業に必要な単位数を取得した者を卒業認定とする。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）担任による二者面談、および三者面談を実施し、学生状況の把握と修学意欲向上に努めている。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	6人 (100%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等）（主な就職、業界等） 長倉医院、宮田眼科病院、おきみず薬局、あたご整形外科、社会福祉法人共友会、医療法人社団 翔和仁誠会</p>			
<p>（就職指導内容）求人票閲覧や就職試験に関する説明会の開催、また、ハローワークと連携した就職指導や、個別に面接指導等を行っている。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） 医療事務技能審査試験（医科）2名、（歯科）4名合格、調剤報酬請求事務技能認定6名合格、医師事務作業補助技能認定2名合格、介護事務管理士5名合格、秘書技能検定2級2名合格</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	1人	11%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生全員に対して定期の個人面談を実施する以外にも、保護者と連携して保護者会の実施や個別の指導、面談を随時実施する。 また学生自治会活動を通じて、学生間の交流を支援している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・ 社会福祉	専門課程	介護福祉科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2, 250時間	1,440 時間	330 時間	480 時間	0 時間	0 時間
			2, 250時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	5人	0人	3人	4人	7人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）介護福祉科では、業界団体や職能団体及び福祉施設の関係者を教育課程編成委員に選任し、関係団体・企業等との連携のもとに、介護福祉科の教育課程の企画及び円滑な運営及び授業科目の内容や指導方法の充実、各授業科目間について、各委員からの要望や意見等を十分に反映させ、改善・調整を図っている。
成績評価の基準・方法
（概要）当該科目の出席率が実質講義回数の五分の四以上の者に単位認定試験を実施する。科目の総合評価は、単位認定試験、授業態度（平常点）、レポート等を考慮して行い、100点満点中60点以上を合格とし、所定の単位を与えている。
卒業・進級の認定基準
（概要）本校規定の必修科目および必要な選択科目をすべて修得することを進級基準とする。必修科目および必要な選択科目をすべて修得し、かつ卒業に必要な単位数を取得した者を卒業認定とする。
学修支援等
（概要）担任による二者面談、および三者面談を実施し、学生状況の把握と学修意欲向上に努めている。模擬試験や習熟度別のグループ分けによる指導で介護福祉士国家試験対策を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	15人 (93.8%)	1人 (6.2%)
（主な就職、業界等） 社会福祉法人、介護老人福祉施設、介護老人保健施設			
（就職指導内容）求人票閲覧や就職試験に関する説明会の開催、また、希望調査を実施し、個別に面接指導や歯科医院見学等を指示している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2023年3月卒業生、介護福祉士国家資格16人取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	1人	5.6%
(中途退学の主な理由) 病期療養のため		
(中退防止・中退者支援のための取組)) 学生全員に対して定期の個人面談を実施する以外にも、保護者と連携して保護者会の実施や個別の指導、面談を随時実施する。また学生自治会活動を通じて、学生間の交流を支援している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
情報デザイン科	150,000 円	500,000 円	300,000 円	実験実習費
医療ビジネス科	150,000 円	500,000 円	300,000 円	実験実習費
介護福祉科	150,000 円	540,000 円	300,000 円	実験実習費
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://miyakonojo.core-gakuen.com/wp-content/uploads//HP_jikohyouka.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校に関係深い有識者から、「自己評価報告書」等をもとに、学校運営や教育活動等について評価・指導を受け、教育水準の更なる向上を図ることを目的とする。 委員会は各学科に関連した企業・団体等の役職員から3名、卒業生代表者または地域住民及び保護者から1名の選出とする。 評価項目は自己評価報告書の内容(教育目的(教育理念)・教育目標・育成人材像、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生募集と受け入れ、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献)及びその他、学校運営や教育活動等に関する内容とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人霧島工業クラブ 理事	2024. 4. 1～2026. 3. 31	企業・団体等役職員
都城市北諸県郡医師会 都城健康サービスセンター 事務次長	2024. 4. 1～2026. 3. 31	企業・団体等役職員
社会福祉法人 観音の里 特別養護老人ホーム高城園 園長	2024. 4. 1～2026. 3. 31	企業・団体等役職員
都城コアカレッジ同窓会 会長	2024. 4. 1～2026. 3. 31	卒業生代表者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://miyakonojo.core-gakuen.com/wp-content/uploads//HP_gakkoukannkei.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://miyakonojo.core-gakuen.com
--